

THE ROTARY CLUB OF NAGOYA-CHIKUSA



WEEKLY

なごや
ちくさ

題字 黒野 貞夫

名古屋千種ロータリークラブ
承認 1982年 8月24日
例会日 火曜日 12:30
例会場 愛知厚生年金会館
事務局 ☎763-5110
会長 秋山 茂則
幹事 和田 正敏
会報委員長 佐野 寛

No. 20

自分を越えた眼を

LOOK BEYOND YOURSELF

1991~92年度 RI会長 ラジェンドラ・K・サブー

第458回例会 平成3年11月26日(火) 曇

◇ “我等の生業”

◇出席報告

会員 66(64)名 出席 51名
出席率 79.69%
前回 96.88%

◇ニコボックス

秋山 茂則君 今日の笑顔よろしく。
青山 敏郎君、江崎 民夫君、林 淳三君、
釜谷 健一君、木全 昭二君、小林 明君、
小杉 啓彰君、小山 雅弘君、小坂井盛雄君、
久保田 皓君、松居 敬二君、宮尾 紘司君、
水野 賀統君、西川 豊長君、奥村登喜朗君、
大谷 和雄君、菅原 宣彦君、魚津 常義君、
和田 正敏君、鷺野 義明君、渡辺 辰夫君、
吉田 節美君 本日はニコニコデーです。本日も笑顔で。

安藤 鏡之助君 ホームクラブ長期失礼しました。明日11/27名古屋美術クラブにて和合RC和陶会ビジター出品していますので、お暇な方は御笑覧下さい。

石田 耕嗣君 先回のゴルフ大会で家内が優勝させて頂きました。上野さんに大変お世話になりました。

加藤 大豊君 第7回名古屋シティーマラソン実行委員長を務めさせて頂きました。晩秋の名古屋の町を16,000人が走りました。

水野 民也君 全日本実業団ボウリング大会が、星ヶ丘で終わり、愛知の日本電装が優勝。永井 正義君 市内18ロータリークラブ麻雀会で優勝しました。

成田 良治君 水野民也さん本日は大変お世話になり有難度うございました。菊池さん、小林さん、鷺野さん有難度うございました。
佐野 寛君 21回あかね会工芸展を開催することができました。

竹内 真三君 本日スピーカーでお耳を汚しますがよろしく。

上野 保君 加藤大豊さん先日はお世話になり有難度うございました。

松島 孝彰君 結婚記念日祝い。

佐久間良治君 本日ニコニコデーに大変ご協力ありがとうございました。

◇和田幹事報告

1. 本日例会終了後、理事役員会を開催致しますので理事役員の方は2F橋の間にお集まり下さい。
2. 次回例会終了後、年次総会を開催致しますので、全会員の方はお残り下さい。
3. 第2750地区東京自由ヶ丘RCより認証状伝達式(2/27)のご案内が来て居ります。参加希望の方は事務局までお申し込み下さい。

◇秋山会長挨拶

西側の見る日本の首相

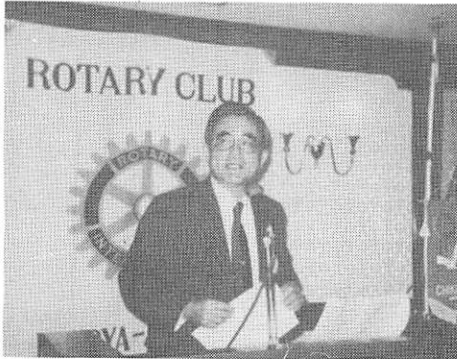
これまでの日本の首相の多くは世界的に目立たない存在だった。国際的な会合で目にも止まることもなく、何らの貢献をしたという記憶も薄い。特にレーガン氏との友好関係を築きその関係は好意的に受け止められたが、レーガン氏とサッチャー氏の間ほど緊密ではなかった。中曽根さんとレーガン氏の会談は広範な国際問題についての意見交換まで深まるものではなかった。竹下さんは嗅覚の鋭い自選的な政治家として見られていたが西側指導者と活発に議論できる人物と見られていなかった。海部さんはサッチャー氏と友好関係にあり90年の総選挙に有利と一緒にテレビに出てくれたが、内外ともに政治的重鎮とみる人はいなかった。英語堪能日本では国際感覚がある政治家、政治的役職経験豊富と世界から見られている宮沢さんはどうか。

(日経ビジネス・ジェフクースミス記より)

◇ 講演

“Omnibus”

会員 竹内 真三君



① This Rotary Age から

ガバナース、レター№5に加納ガバナーがポールハリスの“*This Rotary Age*”の一節を紹介されているが私も極めて感銘して読ませて頂いたので孫引きで紹介させて頂く。内容は省略させて頂きました。

② 参加という事

Rotarianは常に「参加する人」でなければならない、実践が第一であり参加が肝腎である。私は「とても奉仕活動など出来る存在ではない」という謙虚な認識があって始めて「奉仕の理想」の言葉が生きてくると思っている。Fellowshipも「隙あらば人の足を引っ張ってやろう位の下劣なのが私の本性」との認識が前提にあって始めて素直なFellowshipが成り立つのではないか。であるから色々な機会を逃がさぬ様に敢えて「参加」を心がけている。ミダス王の悲哀の轍を踏まぬためにも。

③ 奇妙な出席率

Rotarianの最低の義務は「会費の納入」と「出席」である。出席について私には2つの疑念がある。一つはmake upという方法、一つは36分在席すれば出席と見做すという事である。形ばかりの出席確保に血眼になるのがそんなに大事かだれにでも明らかだろう。Rotarianが多忙な人々の集団である事は分る。然し自身の経験に照らして週一回しかも24時間の中たった20～30分をロスする事で自らの生活基盤が危うくなる様な生活パターンの中で暮らしているRotarianを夫々の会員選考委員会は仲間と認めているのだろうか。出席率100%の数字とは裏腹の形骸化と中途退席について些かの感慨があったので述べた。ゲストスピーカーをわざわざお招きして“そんな話聞いている暇はない”と退席する非礼は健全なる良識マンたるRotarianのどこを押しても出てこない。ましてやFellowshipを口にする資格はない。

④ 脳死

医学的には明らかに「脳死は死」である。「生への復活」はあり得ない。身体の中で大将(脳を含む中枢)が討死すればやがて兵隊(心搏動や呼吸運動他)は駄目になってしまうのは時間の問題とこう考えれば良い訳である。非道い表現ですが現実には「死人の治療」に莫大なお金が費やされています。医療はあく迄も「生(QOL)のレベルアップのためのもの」の苦がその辺の考え方が曖昧なために決して復活することのない生を求めて漫然と無意味な医療が加えられて湯水の如く医療費をかけながら結局死にゆく人も見守る人も誰も得ものがないという奇妙な事になります。目前の老人化社会では大きな問題となりませう。

⑤ ファシズム

新入会員候補者がありますと全会員に回状が廻り“異議のある者は10日以内に申し出よ”とあり異議がなければ入会承認となる。一人でも反対があると折角会員選考委員会で審査し紹介者も明確でありながら「入会不可」となります。ここで私が理事会に申し上げたいのはこの奇妙な非合理的なルールを早急に検討すべきだという事です。昔「一人の反対者でもあったら橋はかけぬ」と豪語して何もしなかった都知事がありました。が女性的発想は間なしに破綻しこの知事は単なる道楽息子で終わってしまいました。「一人の反対でもあったら……」というのは耳に快い言葉ですがこんなファシズムはありません——で以て多を律するというそれが独裁者的発想だとは案外気が付かぬのです。これを合理的なものに改めない限り会員候補の紹介者の労をとるメンバーは出なくなるし骨を折った挙句に義理を欠く始末となりShave Rotaryは言葉だけとなる。会員選考委員会が労を惜しまず理事会が見識もっていれば対策は自らたてられると期待する。

⑥ 体外受精と親子関係

現在私の仕事の方では「体外受精」が脚光を浴びています。今や冷凍受精卵を受胎させるといった処までいっております。これが大変な内容というか問題を含んでいます。科学の進歩を素直に喜ぶべきかスキャンダラスな事柄が迫っていなければよいが……と思います。この事と関係のある様な無い様な皮肉な唄を最後に御紹介して結びといたします。(オー・パパ 荒井洗子を流す)お聴き下さい。

◇ 次回例会 (12月3日)

講演 “ロータリー雑感”

会員 菅原 宣彦君

◇ 次々回例会 (12月12日)

年末会員、家族懇親会

ホテルナゴヤキャッスルにてP. M. 6:00より